

〈国登録有形文化財〉

〈ひょうごの近代住宅100選 ー神戸・阪神間の洋風住宅ー〉

旧松本邸

(宝塚市立中央図書館桜ガ丘資料室)



■所在地

宝塚市桜ガ丘3-45

■問い合わせ先

宝塚市立中央図書館 市史資料室

電話：0797-85-0648

国登録有形文化財

ひょうごの近代住宅100選（神戸・阪神間の洋風住宅）

【旧松本邸】

神戸を拠点に貿易業を行っていた土井内蔵（どいくら）氏の本宅として、昭和12年（1937）5月1日に完成しました。その後、土井内蔵氏の娘アイリン（瑠璃子）氏と娘婿の松本安弘氏の手により、平成13年（2001）に松本安弘氏の遺言により宝塚市に寄贈されました。

設計は、アメリカ帰りの建築家・川崎忍氏（土井内蔵の甥）によるもので、建物の特徴として、建物自体はモルタル塗り外壁の一部に下見板を張り、褐色のスペイン瓦によって複雑な寄棟屋根を葺いた瀟洒な外観となっています。1階は玄関ホール南側に応接室、食堂などの主要室を配し、廊下を挟んで水回りの諸室が連なる中廊下式を採用しています。玄関ホール右手北側の堂々とした折り返し階段により上階へとつながり、2階には書齋と四畳半の和室、寝室などプライベートな諸室がおかれます。

旧松本邸は細部に至るまで堅実な意匠で統一され、台所や全体の間取りにみられる合理的な計画など、滞米経験のある川崎氏の力量と施主であった土井氏の洋風住宅や新しい生活様式への理解がうかがえます。

改修されやすい台所や浴室、便所を含め内外ともに建設当時の状態を良好に留め、防空壕やワイナリーなどの付属建物も残存していることでも注目されます。



昭和30年代の旧松本邸



外 観



応接室



食 堂



台 所



2階 書 齋

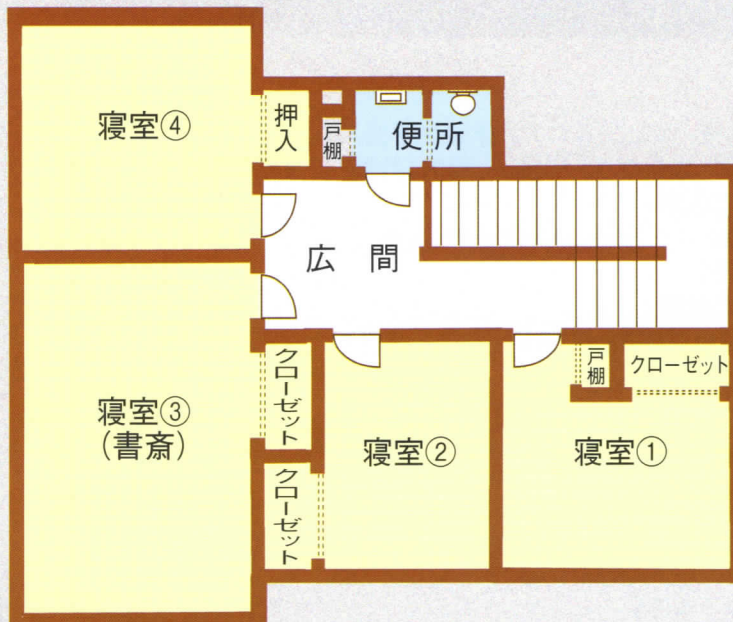
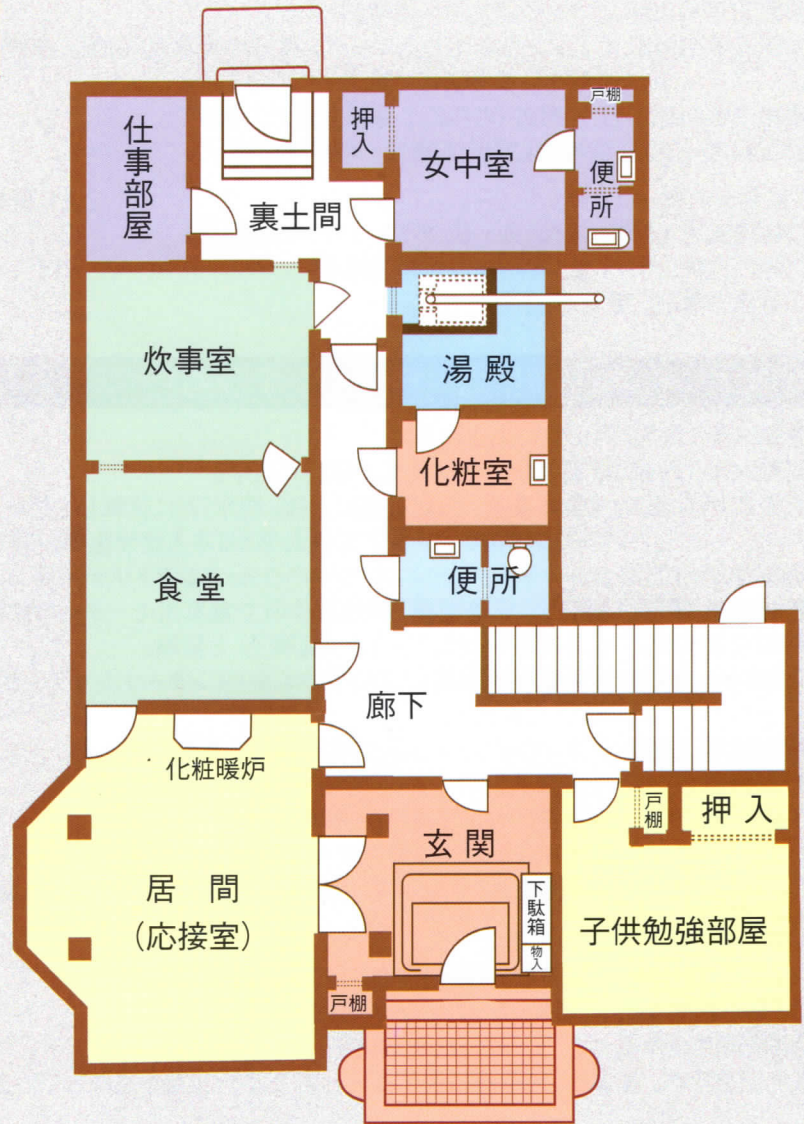


2階 寝 室

旧松本邸平面図



1階 (110.87m²)



2階 (59.50m²)

※部屋名称等は、川崎忍氏設計図によります。

建築主:土井 内蔵(どい くら)

- 明治16年(1883) 広島県に生まれる。
明治32年(1899) コロンビア大学へ留学。
大正 7年(1918) エジソンの発明したカーボン電球の寿命40時間を300時間にまで延ばしたクーリッジのタングステン電球を日本で初めて輸入。
昭和 2年(1927) 土井商店(のちの土井株式会社)を設立。
昭和44年(1969) 宝塚市において逝去。(享年86才)

[主に親交のあった人物]

- ◎高峰譲吉(タカ・ジアスターゼ、アドレナリンの発見者)
- ◎野口英世(ペスト菌、黄熱病原体の発見者)
- ◎新渡戸稲造(教育者)

[主に貿易で取り扱った物]

- ◎列車自動連結器(日本初)
- ◎オーテイス・エレベーター
- ◎タングステン電球

寄贈者:松本 安弘(まつもと やすひろ)

- 昭和 4年(1929) 岡山県に生まれる。
昭和24年(1949) 京都大学工学部電気工学科に入学。
昭和27年(1952) 大学卒業後、三菱電機に入社。同年7月に休職してフルブライト留学生(一期生)として渡米。アトランタ市ジョージア工科大学(日本人留学生第一号)に入学。
昭和28年(1953) ニューヨークのウエスチングハウス・エレクトリック・インターナショナル社で研修。
昭和29年(1954) 帰国し、三菱電機・伊丹製作所で電管用モーターの設計技師に復職。
昭和32年(1957) 土井内蔵の長女アイリン(瑠璃子)と結婚。
昭和34年(1959) 三菱電機を退職し、ロックウエル・インターナショナル社のレパブリック工場(ボイラー自動制御システム部門)に転職。
昭和35年(1960) シカゴのイリノイ工科大学の講師に転職。
昭和44年(1969) 土井株式会社(土井商店を改称)の社長に就任。
平成13年(2001) 宝塚市において逝去。(享年72才)
※松本安弘氏の「青少年の海外留学に役立てて欲しい」との遺言により、私財のすべてが宝塚市に寄贈され、平成14年(2002)に「松本・土井アイリン海外留学助成基金」が創設されました。

[主要著書(妻アイリンと共著)]

- ◎『あなたの英語診断辞書』(昭和54年(1979)、北星堂書店)
 - ◎『科学技術英語の書き方』(昭和56年(1981)、北星堂書店)
 - ◎『技術英文作成ガイド』(昭和61年(1986)、北星堂書店)
- ※上記を含め、著書として英語に関する実務書など約30冊を出版しています。

設計者:川崎 忍(かわさき しのぶ)

- 明治23年(1890) 広島県に生まれる。
明治37年(1904) 父と共に渡米。
大正 5年(1916) フレスノハイスクール卒業後、カリフォルニア大学建築学部入学。
大正11年(1922) カリフォルニア大学大学院(建築学部)卒業後、帰国。片岡・松井建築事務所に入所。
大正14年(1925) J.H.モルガン建築事務所に入所。
昭和 3年(1928) 川崎忍建築事務所を開設。
昭和 9年(1934) 電気溶接学校校長に就任。
昭和13年(1938) 帝都工業技術学校校長に就任。
昭和15年(1940) 東京オリンピックシンボル塔設計競技において一等入選。
昭和21年(1946) 事務所を閉鎖し、大成建設に入社。
昭和32年(1957) 大成建設退社。
昭和47年(1972) 東京都において逝去。(享年82才)

[設計を手がけた主な建築物]

- ◎日本基督教団本郷中央教会(昭和4年(1929)・国登録有形文化財・現存)
- ◎弘前女学校(昭和4年(1929))
- ◎慈愛園・クロンク幼稚園(昭和4年(1929)・現存)
- ◎沖本家住宅 洋館(昭和8年(1933)・現存)
- ◎日本メソジスト牛込教会(昭和9年(1934))
- ◎立教女学院 学生寄宿舍(昭和11年(1936)・現存)



『たからづかデジタルミュージアム』でご覧いただけます <https://adeac.jp/takarazuka-city/top/>
360度パノラマで撮影した「旧松本邸」の建物内部と外観をオンライン上で閲覧していただけます。